



平成29年10月25日
中部地方整備局

平成29年度 中部地方整備局入札監視委員会 第二部会第2回定例会議を開催しました — 審議概要を公表します —

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

第二部会第2回定例会議では、発注工事等の中から抽出した5件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成29年10月16日（月）14時00分～16時00分
場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 長澤 隆夫

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

別紙1

平成29年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成29年10月16日(月) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 伊藤 倫文 (弁護士) 中村 友昭 (大学院准教授) 林 秀弥 (大学院教授)		
審議対象期間	平成29年4月1日～平成29年6月30日		
抽出案件数	総件数 5 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	1 件	別紙1-2のとおり
	一般競争入札 (政府調達適用外)	1 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件		
建設コンサルタント業務等 参加者の有無を確認する公募 手続を行った契約方式	1 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告は、なし。		

別紙1-2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事) 期間 平成29年4月1日～平成29年6月30日

工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成29年度 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区道路(霞4号幹線)橋梁(P9～P13)上部工事	港湾等鋼構造物工事	8	6	4月11日	JFEエンジニアリング(株)	1,554,012	90.13	

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 期間 平成29年4月1日～平成29年6月30日

工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成29年度 名古屋港灯浮標等雑工事	港湾土木工事	1	1	4月3日	森本工業(株)	19,764	99.17	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式) 期間 平成29年4月1日～平成29年6月30日

業務名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成29年度 下田港水質・底質及び海生生物調査	測量・調査	9	9	6月22日	三洋テクノマリン(株)	7,074	80.84	

(参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式) 期間 平成29年4月1日～平成29年6月30日

業務名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成29年度 伊勢湾における海洋環境予測手法研究委託	建設コンサルタント等	-	-	4月3日	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	45,251	100.00	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式) 期間 平成29年4月1日～平成29年6月30日

業務名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成29年度 航路管理施設等点検業務	役務の提供等	1	1	4月3日	西日本電信電話(株)	5,190	99.06	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用)		
平成29年度 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区道路(霞4号幹線)橋梁(P9~P13)上部工事	入札説明書を入手した業者は、何社だったのか。また、そのうち、参加想定業者は何社か。	入札説明書を入手した者は49者であり、うち17者が参加想定業者でした。
	入札を取りやめた者の理由は把握しているか。	いずれの者も、配置予定監理技術者が他の工事に従事することとなったためとのことでした。
	本件落札者の他工区における応札状況はどうか。	本件と同じ工種の港湾等鋼構造物工事で発注した案件は、本件を含めて10件ありますが、本件の落札者は、そのうち9件に応札し、5件を落札しています。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)

平成29年度 名古屋港灯浮標等雑工事	1者応札となった理由は、どのように考えるか。	入札手続きの完了後、参加想定業者に対してヒアリングを行った結果、技術者が確保できない、申請書の提出期間が短いといった回答を得ました。これを踏まえ、申請書の提出期間については、今後改善していきたいと考えています。
	業者は、予め発注予定を知る方法はあるのか。	四半期毎に発注見通しを公表しています。
	1者応札が続いているが、これまでどのような取り組みを行ってきたのか。	業者に求める同種工事の実績や技術者の要件を、段階的に緩和してきました。また、本件は作業船が必要な工事であるため、作業船を手配する期間が短いことがひとつの要因と見込まれることから、開札日を以前より早期に設定するなどの取り組みを行いました。
	灯浮標や汚濁防止膜を設置した業者と本工事の受注者は同じか。	別の業者が設置しています。
	本件は適正に処理された。	

3. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)

平成29年度 下田港水質・底質及び海生生物調査	入札結果を見ると、各社が調査基準価格に近い額で応札しているが、どのような理由が考えられるか。	予め応札意思を示している業者へは見積参考資料を送付していることから、おおよその予定価格や調査基準価格が把握できるようになっています。そのため、各者が受注するために、調査基準価格に近い額で応札したものと考えられます。
	入札の多くが調査基準価格に近いが、僅かに下回る結果であったが、基準価格を見直す必要はないか。	調査基準価格については、その価格以上であれば履行の確実性を担保できる指標として設定したものです。また、基準額を下回った場合でも低入札価格調査制度により履行確実性が担保されるため、現時点では基準額の見直しは考えておりません。
	過去の応札状況は、どのような結果であったか。	平成28年度が11者、27年度が6者、26年度が7者、25年度が5者であり、落札者はそれぞれ異なっています。
	予定価格が毎年上がっているのは何故か。	主な要因としては人件費の上昇によるものですが、その他、消費税率の増額や調査地点の追加によるものです。
	本件は適正に処理された。	

4. 参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式(建設コンサルタント業務等)

平成29年度 伊勢湾における海洋環境予測手法研究委託	契約の透明性確保のために留意したことはあるか。	平成18年度に制定された通達「参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式(財務省通達)」に基づき、契約前に広く参加者の有無を確認したうえで随意契約としています。また、契約締結後は、随意契約とした理由を公表しています。
	特定業者しか使用できないプログラムを想定していないか。	内湾水質複合生態系モデルによる解析プログラムを使用することとしてますが、公表されているものであり、関係する業務解析を行なう者であれば実施可能であると考えています。
	予定価格はどのように算出しているか。また、見積金額の適正性は、どのように確認しているか。	基本的には積算基準を基に算出しますが、一部、標準歩掛のないものについては参考見積を聴取して算出しています。また、参考見積額は、契約後、四半期ごとに提出させる精算報告の内容を精査することで、適正であることを確認しています。
	毎年同様の手続により発注しているのか。過去に応募者があり、プロポーザル手続に移行した事例はあるのか。	毎年同じ手続により発注していますが、これまで応募者のあった事例はありません。
	本件は適正に処理された。	

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)

平成29年度 航路管理施設等点検業務	施設を設置した業者がその後の点検業務を実施するものと推測してしまい、他業者が参加し難い状況にあるのではないか。	参加者の他に入札説明書を入手した者が2者おり、入札手続完了後、参加しなかった理由についてヒアリングを行ったところ、作業員が配置できなかったとの回答を得ています。
	これまでの応札状況は、どうなっているのか。	平成22年度以降、本件落札者による1者応札が続いています。
	1者応札が続いていることに対して、これまでどのような取り組みを行ってきたのか。	業者に求める技術的要件を段階的に緩和してきました。
	今後の1者応札への取り組みとして考えられることはあるか。	これ以上の技術要件の緩和は、品質の低下を招く可能性が高く、困難であると考えています。その他の方法として、公告の掲示場所の拡大や、可能な限り早期に発注を行うことで、応札者の準備期間をより長く設定することを考えています。
	落札率が高いが、どういった理由が考えられるか。	発注年度によって、施設の修理等の項目に違いがあるため予定価格の変動はあるものの、基本的には毎年同じ項目の点検を行うため、予定価格が推測されやすいのではないかと考えています。
	本件は適正に処理された。	

6. その他

	なし
--	----